事例No.	2764
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	鳥取県日南町

事例区分	行政改革

タグ	・人材確保・育成 ・歳入確保 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

守り、育て、受け継ぐ、
持続可能な林業のまち・日南町

出典

令和３年度ふるさとづくり大賞事例集

chapter 21



ふるさとづくり大賞 ―地方自治体表彰―

守り、育て、受け継ぐ、
持続可能な林業のまち・日南町

鳥取県日南町（にちなんちょう）



取組の概要

鳥取県日南町は、人口最小県の鳥取県にあって最も高齢化率の高い自治体である。町の面積の９割を占める森林を持続可能な形として継承していくため、全国的な課題となっている林業従事者の確保・育成を目指して、2019 年 4 月に全国初の町立林業アカデミーを創設した。また、持続可能な森林の循環、脱炭素の取り組みを推進すべく、2013 年度より国のＪ－クレジット制度に参入し、県内外の民間企業等への販売を行っている。

取組のプロセス

2003年～

- 選択と集中による地域資源の掘起し
- 財源確保が課題に

きっかけ 平成の大合併で、合併を選択せず、単独での自立を選択

「30 年後の日南町の姿プロジェクト」発足

- ポスト少子化を見据え、過疎、少子高齢化が進行する日本の 30 年後の姿といわれる日南町
- 先進的なまちづくりを実践するため、産官学金で構成された戦略会議を発足し、日本の中山間地域のモデルを目指すことに

2006年～

- 鳥取大学等の学術機関や、山陰合同銀行等の地域金融機関等による産官学金の連携

J- クレジット制度への参入

- 日南町有林において、二酸化炭素の吸収量を認定し、売買を可能とした制度に参入
- 売上は町の自主財源として林業振興や生態系の保全に活用



2013年～

- 県内外の民間企業による森林保全への参画（年間約 1,000 万円を超える財源確保）

道の駅にちなん日野川の郷オープン

- 道の駅から排出される二酸化炭素を J- クレジットを活用してオフセットする全国初 CO_2 排出ゼロの道の駅
- お客様が買い物をすることで森林保全につながる取組も実施



2016年～

- 林業従事者の高齢化

「にちなん中国山地林業アカデミー」開校

- 全国初となる町立の林業アカデミーを開校
- 林業、地域の担い手として多くの卒業生が町内で活躍している



2019年～

内閣府「SDGs 未来都市」選定

人口減少や高齢化などの地域課題の解決を図り、基幹産業である第一次産業を元気にするまちづくりを目指す取り組みが評価される

今後の展望

- **日本の７割といわれる中山間地域の未来を創る「創造的過疎のまちづくり」を実践**
- **産官学金が連携する多様性を重んじるまちづくりの実践へ**

DATA

事例名：『守り、育て、受け継ぐ、持続可能な林業のまち・日南町』
鳥取県日南町
所在地：鳥取県日野郡日南町霞 800
連絡先：TEL 0859-82-1111
FAX 0859-82-1478
E-mail info@town.nichinan.lg.jp
ホームページ https://www.town.nichinan.lg.jp

